

大道理かわら版 むくろじ

皆で楽しく、まずやってみよう！ 大道理をよくする会 経済部

発行元

大道理夢求の里交流館

運営協議会

TEL : 0834-88-1830

平成29年
8月15日号
(No.22)



大道理地区の世帯数と人口	
世帯数	190世帯
人口	382人
男性	173人
女性	209人
高齢化率	55.0%
(平成29年7月31日現在)	

今年度の新たな取り組み

地区内の遊休農地を有効活用し、大道理地区に根付く農産品を生産し、ゆくゆくは特産品として販売し、地域に経済効果を生み出すことを目指し、「まずはやってみよう」と、様々な取り組みをされている「大道理をよくする会 経済部」の皆さん。現在までの活動のこと、今年、これから先の目標など、部長の福原靖史さん、江村博文さん、山田芳子さんにお話を聞きました。



▲今年の生姜コンテスト参加者、三浦芳雄さんの生姜です(2017年7月2日)



▲昨年のふるさとまつりでの「生姜コンテスト」展示の様子です！



▲4月に開かれた経済部会の様子



福原さん：『経済部は、年に四回ほど部会を開いて、皆で集まり、年度ごとの活動についての話し合いをしています。今年も昨年に続いて、ふるさとまつりで生姜コンテストをします。去年が初めての試みでしたが、三十名の方が参加され、生姜の出来が良かったこともあり、盛り上がりしました。今年度の生姜コンテストには、三十六名の方が参加されることになっていて、今年も六月になっても気温が低かったこともあり、去年ほど出来が良くないという話も聞きますが、昨年との違いとして今回は、加工品の出品もお願いしているのです。どのような生姜を使った加工品が出品されるのかも楽しみにしています。』



▲ほたるまつりでの経済部販売ブースです。野菜、加工品、落花生の苗(手前)を販売されました

六月九日、十日に開催された「ほたる観賞の夕べ」では、順調に成長した苗を販売しました。



▲5月上旬、落花生の種まきをしています

▶種まきから約三週間後の苗、大きく育っています！



また今年度は、落花生を栽培し、苗をほたるまつりで販売し、ふるさとまつりでは、お客さんに袋詰め放題で販売しようという新たな企画をし、二種類の落花生の種をそれぞれ一キログラムずつ購入し、五月上旬、経済部の皆で集まってポットに種まきをしました。

の苗とともに販売を行いました。両日共に沢山のお客さんに来て頂き、豆類などは販売開始してまもなく、あつという間に完売となりました。落花生は、ごく一般的に自宅で育てる野菜という感じではないので、育て方の説明書を用意していました。横へ広がる特性など、注意点が

今回のほたるまつりでは、野菜類、切り干し大根、梅干し、沢庵などの加工品を作っておられる地元の方の出品も頂け、経済部で頂いたお餅、落花生

【鹿野の加工所 渋川工房視察の様子です】



▲渋川工房での視察風景です



▲6月、鹿野地区へミツマタ栽培をされている農家さんを視察訪問しました！



▲渋川工房の施設外観です

栽培方法など具体的に教えて頂きました。それから、鹿野の加工所、渋川工房にも行き、具体的な活動などについて伺い、農家レストラン「たぬき」で食事をして帰りました。

楽しみながら次の展開を...

地区内に経済効果を生む取り組みについては、皆でいつも楽しく話合っています。その中で、大道理の気候、風土を活かして出来る限り手を掛けず、経済効果を生むのではないかと、ミツマタを栽培してみようかという意見が、会員さんの中から出ました。そこで六月下旬、経済部会員の皆で、鹿野地区でミツマタの栽培に取り組み、まわっている澤野さんという農家さんの畑へ視察に行き、栽培方法など具体的に教えて頂きました。それから、鹿野の加工所、渋川工房にも行き、具体的な活動などについて伺い、農家レストラン「たぬき」で食事をして帰りました。



▲ほたるまつりでの販売の様子です

「乾燥させたタケノコ、ササゲ豆など、まちなかに住んでいる方には珍しいものもあり、「これはどうやって食べたらいいの？」とお客さんから聞かれて、説明しながら販売するというやり取りなどもあって、ほたるまつりでの販売はとても楽しかったです。」

【大豆の種まき】



▲経済部、JA女性部の皆さん、田中支所長に来て頂き播種しました

福原さん：『その他にも、夢求の里交流館の今年度自主事業との協調も、新たな取り組みの一つです。地域でこれまで受け継がれてきた伝統の味を次世代へ受け継ぐことを目的として、大豆を栽培し、味噌、豆腐などの加工品づくりの講座を開催するというのに対して、夢求の里交流館と経済部、JA周南女性部とが協力していくことになり、六月に大豆の種まきを行いました。』

受け継がれた味を次の世代へ大豆、蒟蒻栽培のこと

七月に開催した講習会では、稲や野菜の生育のこと、害虫のこと、肥料についてお伝えし、今年開催する生姜コンテストに向けて、参加者皆さんそれぞれのご家庭での生育状況なども話題に上りました。しばしば参加されている大道理中村地区の山田温子さんは、「こちらの講習会について、「農業は天候相手でもあるので、自己流だとなかなか上手いきません。専門の方のお話はとても参考になります。」とお話くださいました。



▲2017年7月開催の講習会の様子

冬の間、JAの営農指導員、江村さんが講師を務めて、野菜や稲作について、農薬、肥料の種類や適切な使用方法、生育状態や管理について伝える講習会を開いています。

ミツマタ栽培については、視察に行くと、実際に栽培されている方の話を聞いてみて、経済効果や必要な労力について知ることが出来ました。地区内の取組として、土地を借りて栽培すると、栽培を始めた後は、その後継続的に何年にもわたって続ける必要があるため、栽培する人材の事等も含めて、検討しないといけない点が沢山あることも分かりました。

年二回開催 農業講習会が人気！

経済部では、夏の年二回、JAの営農指導員、江村さんが講師を務めて、野菜や稲作について、農薬、肥料の種類や適切な使用方法、生育状態や管理について伝える講習会を開いています。

それから、収穫は三年先の話にはなりますが、蒟蒻も植えました。蒟蒻も、伝統的に大道理地区の家庭で受け継がれて来た加工食品ですが、今では作られる家庭も少なくなりました。

蒟蒻、味噌、豆腐など今まで受け継がれて来た、加工の技、味を地域のより多くの方に伝えて、次世代へ受け継いでいきたいです。

蒟蒻、大豆の両方とも経済部、JA女性部、夢求の里交流館とで協力しながら栽培、加工、講座開催して、地域に根差した取り組みにしたいです。



▲蒟蒻芋を植えています

これからの経済部の展望と夢

経済部は女性の会員さんが多いからか賑やかで、何かやろうということになるとすぐにまとまって、楽しく皆で活動出来るのが良いところだと思えます。



▲経済部会での女性陣の様子

また、何かを作るなど作業をして、成果が出て分かりやすいということも、特徴かもしれません。

江村さん「色々やりながら、手探りでもやってみよう」と一直線に皆で活動しています。去年初めて実施した生姜コンテストが、とても盛り上がり、今年も加工方法についての様々なアイデアが出されています。

山田芳子さん「経済部では、餅つきをして、ほたるまつりやふるさとまつりで販売をしています。生姜を餅に入れて搗いたら良いのではないかとということになり、まず試作として、一升のもち米に対して生姜を三百グラム入れたお餅を作り、家族や知人に食べてもらいましたが、「生姜の香りがした」とか「ぼかぼか温まる感じがする」という感想を聞かせてもらい、評判が良かったです。」

福原さん「いきなり難しいことに取り組むというよりも、まずこれが良さそうというアイデアが出たら、やってみて、大道理に定着しそうなものなら続けてみて、難しいのであれば、また違うことに取り組む、という形で活動しています。その積み重ねで、将来的には、他の地域で作っていないような、大道理ならではの特産品を作り、地域に経済効果を生むことが出来れば良いかと考えています。」

少し昔の大道理 ～夏の暮らし(一)

大道理地区の暮らしや風習について、大道理で生まれ育った方や、幼少期から今までずっと、大道理で過ごされた方からお話を聞きまして、お伝えします。今回は大道理中村の山田悦美さん、温子さんご夫婦、大道理大島の安野マツ子さんからお話を伺いました。今号には山田悦美さん、温子さんご夫婦から伺ったお話を掲載させて頂き、次号に、安野マツ子さんのお話を掲載します。

山田悦美さん 温子さん (中村)



▲山田温子さん

山田温子さん「私が子どもの頃は、大道理にはまだ、子どもが沢山いて、小学校の同級生は、女子が十一人、男子は十二人いました。子どもたちは、学年関係なく遊んでいて、夏には川で泳いで遊びました。地区ごとに泳ぐ川が違っていて、中村の私たちは門前川で泳いでいました。川は子どもの頃、とてもきれいで泳いでいたが、田んぼに農薬を散布した時には、泳いではいけなかったという印として、赤い旗が立てられていました。男子は、学年が上の大きな子が釣り竿を持ち、低学年の子は、餌を入れたバケツを持って、釣りに行ってました。」

中学生になると、近所の女の子たちと一緒に、中村から山越えをして大久保へ抜けて、向道ダムの堰堤へ泳ぎに行きました。家で夏の暮らしは、子供の頃には、まだ蚊取り線香がなかったため、夏には蚊帳を吊って家族全員、その中で眠っていました。」

悦美さん「大道理地区では八月に、盆踊りと八朔祭りがあります。子どもの頃、盆踊りは、その年に亡くなった方のおられる家に行ってお祭りしていました。盆踊りは、今のようないきなりは、まだ復活しておらず、ゆつたりとした「あさがお」という踊りをしていました。踊りは太鼓を叩く人、音頭を取る人がいて、盆踊りの時に使われる「口説き本」をアレンジして歌う、上手な歌い手がいきました。鹿野地には二人、瀬戸兼には三人、歌の上手い人がいました。」



八朔祭りは、子ども時代には、神輿が出ていて、部落ごとに神輿が出るところと、出ない部落とがありました。おみやげも神輿とあって、男の子が神輿の上に乗っていました。

八月十日の観音様のご縁日は昔、子どもたちが、お参りに



▲鹿野地区の観音様

子ども時代の食生活

温子さん「子ども時代は、麦ごはんやおかゆと、梅干し、白菜漬、沢庵などの漬物と、野菜の煮物など野菜中心の食生活でした。大道理では、茶粥を食べる家庭も多かったと思います。私の家は、茶粥ではありませんでした。お芋の入ったおかゆを食べたこと、美味しかったです。」

冷蔵庫の無い時代なので、出汁に使うイリコは、魚屋さんから一年分購入して、天井からぶら下げて保存していました。昭和三十年代までは、魚屋さんが新南陽から売りに来られていました。」

子ども時代のおやつとしては、蒸し器で作る蒸し饅頭を食べていました。夏のおやつは、スイカや、トマト、原商店で購入したアイスキャンデーなどでした。私は姉が三人、兄一人の五人兄弟の末っ子です。物が無い時代だったので、羊かんを人から頂いた時は、兄弟で喧嘩にならないよう、物差しで測り、分けて食べていました。兄弟とは歳が離れていて、小さい頃、「私があっちゃんをおんぶする」と、取り合いになるくらい、三人の姉たちからは特に可愛がられて育ちました。三人の姉たちは健在で、皆、比較的近くに住んでいます。子ども時代に可愛がってもらった恩返しができるのは今だと思っています。父が軍人で転勤があったので、兄弟全員生まれた場所が違い、私も生まれは徳山ですが、四歳から今までずっと大道理で暮らしてきました。大道理はのんびりとした地域で、人情があります。大道理出身の同級生が周りにいて、今でも皆、お互いにちゃん付けで呼び合い、共通の話も出来るので、良いですね。」

編集後記

夏真っ盛り。今朝夕肌寒ささえ覚えた六月が嘘のように、今年の夏は梅雨明け前から暑さがぐんと増し、とても暑いですね。私の子どもの時代とは比較にならない程暑い夏をどうやって乗り切るかということが、毎年の課題です。今回のむくろじは、「大道理をよくする会の経済部」と、「大道理地区の少し昔の暮らし」について、特集しています。どちらも、地域の食文化に関わるお話を聞き取ることができました。「夏の暮らし」は、突然取材申し込みさせてもらいましたが、快くお話を聞かせて頂き、有難かったです。当時の大道理の賑やかな町の様子、夏の風景が浮かんで来て、皆さん、自然豊かな大道理で、思いっきり自然の中で走り回った、素敵な子ども時代を過ごされたんだなあと感じました。むくろじ八月十五日号を作っている間、八月二十二日に開催する「1DAYハーブ×自然薯料理講座」の準備を進めています。こちらの講座は、大道理地区で自然薯栽培をされている「神さまの杖」の皆さんが栽培された大道理産自然薯と、ハーブを使って夏を元気に乗り切ろうというものです。ハーブについては、昨年講座を開きましたが、講師に来て頂いた有吉先生には、ハーブの栽培方法や、活用方法について、個人的にも習い続け、今年から三嶋神社前の圃場での栽培の指導もさせて頂いています。どちらか一つで自然薯の組み合わせで、体に良いハーブと自然薯の組み合わせで、料理講座をしようと思案しました。これまでは、講座の企画をして、企画案チラシを講師の先生にお見せして、「こういう内容で講座を開きたいのですが、来て頂けますか?」という形でお話し、講座で作る材料などの準備は講師の先生にして頂いていました。しかし、今回は、企画案を講師の先生に、材料、調理器具等の準備をし、実際に自分で試作する必要があるため、メニューは、少しおしやれなイメージのもので、しかし簡単に家庭で作れるものと考え、「キッシュ」をメインに据えましたが、「人生一度も作ったことがないのに無謀だったかもしれない、出来るだろうか」という不安も実はありました。そこに、本当に有難いことに、心強い皆さんにお力を貸して頂きました。美味しく、簡単に調理出来る「参加して良かった。家でも作ろう」と思っている講座にするため、試作を七月末日現在まで、四回行い、自然薯を試作段階から提供して下さった「神さまの杖」の皆さんにも四回目の試作時に試食してもらい、「美味しい」というお墨付を頂くことができました。転機は二度目の試作で、味、調理方法など、山田芳子さんと娘のめぐさんのアドバイスで改良出来、さらに、井上さん、掛さん、山田さんの三人に来て頂いた三度目の試作では、手順を確認しながら全メニューを作る事が出来ました。本当に有難く心強い事です。これ迄も沢山の皆様から心強い協力に感謝しながら、様々なことに取り組んでいきたいです。改めてどうぞよろしくお願い致します。(山縣清子)

夢求の里交流館からのお知らせ

サロンのお知らせ

★サロン 日時：8月23日(水) 10時30分～16時

★ミニサロン 日時：9月13日(水) 13時30分～16時

場所：大道理夢求の里交流館 大会議室

対象者：男女年齢問わず、どなたでも歓迎

★ご希望の方は、送迎をいたします。

☆ 毎週水曜日午後一時半から、介護予防のための「百歳体操」をしています！

☆ 8月23日は午後3時頃、道の駅ソレ

―ネ周南移動販売車来館予定です！

▼百歳体操の様子です

